

第2期青梅市スポーツ推進計画（案）のパブリック・コメント実施結果

- 1 実施期間
令和5年11月1日（水）～11月14日（火） 14日間
- 2 意見募集結果
12名（うち1名は匿名のため非公開）
- 3 意見要旨および市の考え方

	意見要旨	市の考え方
1	<p>市内にバレーボールコート2面が使える程度の新しい体育館を作ってほしい。バレーやバドミントン、インディアカ等のほか、盆踊りの練習にも使用できる施設が欲しいです。ご検討宜しくお願い致します。</p>	<p>現在市内には、バレーボール等の屋内競技を実施可能な公立体育館が12箇所あるほか(市民センターに付随するものも含む)、市内小中学校の体育館を開放し、市民団体等に貸出を行う事業を行っております(学校開放事業：第4章-1 青梅らしい多様なスポーツの推進「する」スポーツ(7) 身近なスポーツ施設の活用に記載)。</p> <p>さらに、青梅市のスポーツ振興については、現在第2期の策定を進めている青梅市スポーツ推進計画をもとに、スポーツ施設の最適な配置を目指して令和4(2022)年に策定した青梅市ストック適正化計画との整合性を図りながら推進しており、ストック計画では、現在市が保有する個別のスポーツ施設について、更新や統廃合を行っていく方針を示しています。</p> <p>現在の施設設置状況や青梅市スポーツ施設ストック適正化計画の方針、また財源状況等からも、すぐに体育館を新設することは難しいと考えておりますが、将来的なスポーツ施設の更新や新設については、引き続き市民のニーズの把握に努め、慎重に検討してまいります。</p>
2	<p>各地域で朝のラジオ体操を実施してはどうか。実施する場合は、高齢の方が参加しやすいよう、歩きで10分程度の範囲で実施できたら良いと思う。</p>	<p>御意見いただきました地域におけるラジオ体操については【第4章-1 青梅らしい多様なスポーツの推進「する」スポーツ(6) 地域でのスポーツ活動の促進】において、今後実施を検討していく取組例として記載しております「地域ごとの健康・スポーツ・レクリエーションイベント」に含まれるものと認識しております。</p> <p>地域におけるスポーツの振興については、各地域の運動・スポーツに関する現状を的確に把握しつつ、取組を実施していくことが重要になります。平成30(2019)年と令和4(2023)年に、青梅市内で巡回ラジオ体操を実施しておりますが、さらに小さな地域単位で実施する場合には、市民の健康意識を高め、自発的な健康コミュニティを醸成する必要があると考えます。</p> <p>ラジオ体操を含めた地域ごとの健康・スポーツ・レクリエーションイベントについて、スポーツ推進委員会を中心に、効果的なプログラムの実施を検討するとともに、第2期計画期間内(今後10年間)に、情報提供や相談機能のさらなる充実を目指してまいります。</p>

	意見要旨	市の考え方
3	<p>ヨガの教室等を実施する場合は、初心者と経験者で対象を区分し、初心者にも優しいコースを設定するなど、配慮をしてほしい。また指導者の選定も重要であると思う。</p>	<p>ヨガ教室等のスポーツ講座は現在、主に指定管理者による自主事業として実施しています。指定管理者をはじめとする民間事業者との連携は、本市のスポーツ施策を推進する上でも重要です。【第4章-3 次世代につながるスポーツの推進「ささえる」スポーツ（2）スポーツにおける多様な団体等との連携】にも示しておりますが、御意見いただきましたように、初心者と経験者で対象を区分し、初心者にも優しいコースを設定するなどの配慮を行うなど、市民のニーズにあった事業の展開を目指してまいります。</p>
4	<p>青梅市民大会ゴルフ競技の参加費が高額ではないか。市民大会として実施するのであれば、もう少し配慮があっても良いのではないか。</p>	<p>御意見として承ります。多くの方が市民大会に参加していただけるよう、今後も随時内容を見直しながら実施してまいります。</p>
5	<p>ほかの地域と比べて、あまりスポーツをする環境が整っていない。スポーツをする環境がないとスポーツする意欲がわかない。400mトラックを有した競技場や屋内プールは、最低限欲しい。青梅市は、青梅マラソンが有名だが、走る練習ができる環境が少ないので、長距離周回コースの公園があるといいのではないか。青梅マラソンのコースは信号が少なく、練習する環境としてはいいが、歩道がないところも多いので、安全でない。多摩川沿いの遊歩道を作してほしい。また、民間プールの開放事業等もあるが、日数が限定されており、十分に利用ができないため、他地域の施設を利用せざるを得ない。</p>	<p>都が発行する「東京都における公立スポーツ施設(令和4年度版)」によれば、多摩26市のうち、400mトラックを有しているのは10市となっており、青梅市では永山公園総合運動場に外周300mの陸上トラックを設置しております。青梅市ストック適正化計画では、現在市が保有するスポーツ施設について、更新や統廃合を行っていく方針を示しており、現在の施設設置状況や財政状況等から、規模の大きなスポーツ施設をすぐに新設することは難しいと考えておりますが、将来的なスポーツ施設の更新や新設については、引き続き市民のニーズの把握に努め、慎重に検討してまいります。民間プールの開放については、【第4章-1 青梅らしい多様なスポーツの推進「する」スポーツ（7）身近なスポーツ施設の活用】において、現行の取組例として記載しておりますが、御意見いただきました日数の拡充も含め、官民が連携したスポーツの場の活用について検討を進めてまいります。なお、周回コースのある公園や遊歩道の整備については、御意見として承り、庁内部署間を横断した情報共有を行ってまいります。</p>
6	<p>各体育施設のトイレを綺麗にしてほしい。また、各種競技のアスリートを招き、継続的な指導が出来るような体制を構築してほしい。青梅市として、強化スポーツを指定して、選手の育成等をしてはどうか。</p>	<p>【第2章-3 市内スポーツ施設の状況】にて記載しておりますとおり、市が保有するスポーツ施設については、「青梅市スポーツ施設ストック適正化計画」に基づき、更新や統廃合を行っていくこととしています。アスリートへの支援については、青梅市スポーツ振興基金を活用し、優秀な成績を収めた選手や、オリンピック強化指定選手への援助を行っており、引き続きこの制度を活用したアスリートの育成・応援をしていきたいと考えております。なお、このことについては【第4章-3 次世代につながるスポーツ「ささえる」スポーツ」（4）青梅市スポーツ振興基金を活用した支援・顕彰および基金への寄付】において記載しています。具体的な強化スポーツの指定や選手育成については、青梅市スポーツ協会や各種競技団体との調整・連携が必要であることから、御意見として承り、第2期計画期間内(今後10年間)に研究を進めます。</p>

	意見要旨	市の考え方
7	<p>年齢を問わず手軽にできる運動として、ウォーキングを推進してほしい。自然豊かな環境を活かし、様々なコースやレベルを設定すると良いのではないかと。</p> <p>ウォーキングが物足りない人は、ランニングにレベルアップし、奥多摩溪谷駅伝競走大会や青梅マラソンにもつながるようにできると良い。</p> <p>また、誰でも知っており、多世代が共通して健康づくりを行うことができるラジオ体操も良いと思う。</p>	<p>【第2章-1 第1期計画の体系と進捗状況(2) 第1期計画の進捗状況】に記載している世論調査結果をみると、現在行っている、または今後やってみたいスポーツ・運動として、半数以上の方が「ウォーキング」と回答しています。このことから、自分の時間に合わせ、簡単にできるスポーツ・運動の機会が求められていることがわかります。</p> <p>【第4章-1 青梅らしい多様なスポーツの推進「する」スポーツ】において、基本的視点「いつでも・どこでも・誰とでもスポーツができる場と工夫」においては、自然環境を生かしたスポーツ・レクリエーションの充実を図るとしており、このスポーツ・レクリエーションには、ウォーキング等の軽スポーツを含んでいます。</p> <p>御意見いただきましたウォーキングについては、取組例に示しているとおり、アプリを活用した支援を検討するほか、ランニングや体操等の軽スポーツについて、重点的な施策のひとつとして、健康課等の他部署とも連携しながら推進していきます。</p>
8	<p>青梅市民がスポーツに取り組みやすい環境をつくるのはとても良いことだと思う。</p> <p>環境も大事だが、野球やサッカー、バスケなど様々なスポーツをやっている子ども達のスポーツ環境にももっと目を配って欲しい。</p> <p>子どもが全国大会等に出場する場合も、大会会場までの交通費援助がない。</p> <p>子ども達が全国大会という大舞台で力を発揮するためにも、援助できる環境づくりにも力を入れて欲しい。</p>	<p>市では、スポーツ振興を目的とした基金(青梅市スポーツ振興基金)を保有しており、市民が国際大会や全国大会に出場した場合の宿泊費・交通費援助や、優秀な成績を収めた場合の表彰等に活用しております。</p> <p>援助対象となる条件を満たした場合には、スポーツ推進課窓口にて所定様式にて申請をしていただき、スポーツ振興審議会での承認をもって援助を受けることができます。</p> <p>なお、この援助制度については、【第4章-3 次世代につながるスポーツ「ささえる」スポーツ】(4) 青梅市スポーツ振興基金を活用した支援・顕彰および基金への寄付」において記載しております。</p> <p>今後も、この制度の周知を強化するとともに、基金を活用したスポーツの振興を推進してまいります。</p>
9	<p>青梅市内にはミニバスケットのクラブチームがあり、子どもたちが日々元気に練習を頑張っているが、気軽にシュート練習ができる環境が不足している。</p> <p>「誰もがスポーツに親しむことができるまち」を目指すのであれば、市内の公園にバスケットボールのゴールを設置してほしい。</p>	<p>現在、市内にバスケットゴールが設置されている公園は、わかぐさ公園のみとなっておりますが、バスケットボール等の屋内競技を実施可能な公立体育館は12箇所あるほか(市民センターに付随するものも含む)、市内小中学校の体育館を開放し、市民団体等に貸出を行う事業を行っております(学校開放事業：第4章-1 青梅らしい多様なスポーツの推進「する」スポーツ(7) 身近なスポーツ施設の活用に記載)。</p> <p>公園へのバスケットボールのゴール新設については御意見として承り、庁内部署間を横断した情報共有を行ってまいります。</p>

	意見要旨	市の考え方
10	<p>eスポーツは、シルバー世代が気軽に参加でき、脳の活性化、社会交流の確保を図ることができる健康増進スポーツとして、いま注目を集めているアクティビティである。皆が一緒に集い、学びあい、楽しくあそび、健康になれるような場所が必要だと思う。</p>	<p>【第4章-1 青梅らしい多様なスポーツの推進「する」スポーツ（4）高齢者のスポーツ活動の促進】において、今後実施を検討していく取組例として、「eスポーツ推進事業」を記載しております。</p> <p>御意見いただきましたスポーツを通じた脳の活性化や社会交流は、今後の高齢化社会においても重要な観点であると考えております。青梅市では、スポーツの日のイベント(スポーツDAY青梅)において、eスポーツ体験コンテンツを設置するなど、現在も取組を進めており、次年度以降も各種体験の機会を設けていく予定です。</p> <p>本計画においても、「意識的に行う身体活動のすべて」をスポーツとして位置づけ、eスポーツを新しいスポーツのジャンルとして捉えております。国や都の動向を踏まえつつ、第2期計画中間見直しまでの今後5年間を目途に、基礎自治体が行うべきデジタル技術を活用したスポーツ施策について更なる研究と活用方策の検討を進めます。</p>
11	<p>【4-1 青梅らしい多様なスポーツの推進「するスポーツ」に関して】</p> <p>①重点施策にあるカヌー体験教室は週一回の運動を促す施策には思えない。</p> <p>②障がい者スポーツに関して、水泳の推進を。重力の影響を受けにくく、怪我のリスクも低い。有資格者による指導とすることで、溺水のリスクも軽減可能。</p> <p>【4-3 次世代につながるスポーツの推進「ささえる」スポーツに関して】</p> <p>③スポーツ指導者やスポーツボランティア等の育成・支援について。有資格者を登録できるようにし、その人たちを活用することで、スポーツ教室を継続的に実施してはどうか。</p> <p>【4-4 理解を深め、互いに成長しあうスポーツの推進「まなびあう」スポーツに関して】</p> <p>④「学びの場」は、指導者が学ぶ場と、スポーツをやっていない人が学ぶ場がある。スポーツをこれから始める方を対象とした学びを重点的に提供してほしい。</p> <p>【4-5 もっと青梅を好きになる「あそぶ」スポーツに関して】</p> <p>⑤青梅ファンを創出するにあたっては、市外からくる方向けに、荷物預かりやシャワーなどの施設設置を検討してほしい。</p> <p>【全体として】</p> <p>⑥予算規模がわからないため、予算も見えるようにして取り組んでほしい。</p>	<p>①カヌー体験については、本市の有する資源（御岳溪谷等の自然環境や、オリンピック等の人材）を活用した事業で、例年定員を大きく超える応募があり、身近な地域資源を生かしてスポーツに触れることができる、本市特有の競技のひとつとして、優先的な施策に位置づけております。</p> <p>②障がい者スポーツに関しては、障がい者のスポーツに対するニーズを的確に把握し、その結果をもとに効果的なプログラムを構築、実施していくことが重要と考えております。本市における障がい者スポーツの実態を捉え、水泳競技も含めた事業の実施を検討してまいります。</p> <p>③スポーツ指導者やボランティアの登録制度については、地域に埋もれる人材の発掘や育成、支援に有効な施策であると考えます。【第4章-3 次世代につながるスポーツの推進「ささえる」スポーツ（3）スポーツ指導者やスポーツボランティア等の育成・支援】において、今後実施を検討する施策のひとつとして記載いたします。</p> <p>④スポーツの「学びの場」については、学びを求める方々のスポーツに対する意識や状況、立場等に応じて多様な選択肢があることが重要であると考えております。本計画に記載している取組は一例となりますので、いただきました御意見を参考に、必要に応じて誰もがスポーツを学ぶことができる社会の実現を目指してまいります。</p> <p>⑤【第2章-3 市内スポーツ施設の状況】にて記載しておりますとおり、市が保有するスポーツ施設については、「青梅市スポーツ施設ストック適正化計画」に基づき、更新や統廃合を行ってまいります。シャワー設備等の新設については、御意見として承ります。</p> <p>⑥具体的な予算額については、市全体の財政状況等にも関わるため、計画段階では明示することが難しいと考えております。</p>